

科目ナンバリング		U-LAS29 20028 SJ48							
授業科目名 <英訳>	日本語アカデミック・ライティング Japanese Academic Writing I			担当者所属 職名・氏名	京都大学	未定			
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語		
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	火3		配当学年	1回生	対象学生	留学生

[授業の概要・目的]

論文・学術的レポートを日本語で書く上で必要な基礎的な知識・技能を身につけることが主な目的である。本授業では、論文の文体や表現、資料の探し方、引用の基本、要約、文のタイプ、図表の作り方などの講義と、日本語での意見文作成の実践を通して、まとまった量の論理的な日本語を書けるようになることを目指す。

[到達目標]

- ・自分で資料を集めて、その論旨を上手にまとめられるようになる。
- ・論文で使う日本語表現を学んで、使えるようになる。
- ・議論の展開の仕方を学んで、短い意見文が書けるようになる。

[授業計画と内容]

日本語で論文を書く上で必要な基礎的な知識(資料の探し方、論文の要約方法、参考文献の書き方など)を学ぶ。また、論文で使う文体、日本語表現などを実例や実践を通して学び、最終的にいくつかのテーマに基づいた意見文を完成させる。

第1回 オリエンテーション/論文とは

論文がどのような性質をもっているのかを学ぶ。

第2回 論文の文体と表現

学術的文章の特徴を知る。

第3回 論文の文体と表現

学術的文章の特徴を実践を通して学ぶ。

第4回 資料の探し方・集め方

資料の種類と性質、集め方を知る。

第5回 引用とは/引用の仕方と参考文献の書き方

引用の基礎、引用の仕方、参考文献の書き方を学ぶ。

第6回 要約の基礎/論文要約

要約の基本を学び、短い日本語の意見文を要約する。

第7回 論文要約 /論文の種をまく

実際の小論文を要約してみる。論文に疑問をぶつける練習をする。

第8回 調査方法の基礎/文のタイプ(事実・意見・行動を述べる文)

調査をする際の注意点を学ぶ。事実と意見を分けることの重要性を知る。いかに日本語で事実・意見・行動を書き分けるかを学ぶ。

第9回 論文の基本構成

論文の書き始めに関する基礎知識を学ぶ。

第10回 論文の基本構成

論文での議論の展開方法を学ぶ。

第11回 論文の基本構成

論文の締め方を学ぶ。

第12回 図表・グラフ作成の基礎/図表・資料の表現

日本語アカデミック・ライティング (2)

――表――グラフ作成の基礎とそれらを提示するための表現を学ぶ。
第13回 意見文の推敲(日本語)
他人の意見文と比較しながら自分の意見文の日本語を推敲する。
第14回 他人の意見文を評価する(内容)
他者の意見文を評価しながら自身の意見文の内容を推敲する。
《期末レポート》
第15回 フィードバック

[履修要件]

日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。

[成績評価の方法・観点]

授業への参加度(30%)、課題(30%)、意見文完成稿(40%)によって評価する。

[教科書]

使用しない
ハンドアウトを配付する。

[参考書等]

(参考書)
浜田麻里ほか『論文ワークブック』(くろしお出版, 1997)
小森万里・三井久美子『レポート・論文を書くための日本語文法』(くろしお出版, 2016)

[授業外学修(予習・復習)等]

授業では、授業外で行う課題を用いての実践やグループワークを行うことがあるので、課題には計画的に取り組むこと。

[その他(オフィスアワー等)]

[主要授業科目(学部・学科名)]